

概要

焼津市は、平成20年11月1日に焼津市と大井川町が合併し、新「焼津市」となりました。市内の自主運行バスは、合併前の路線がそのまま運行されており、合併後の市域全体の公共交通ネットワークの再編が課題となっています。合併を契機に、路線バス、自主運行バスの再編や新たな運行形態を含めた公共交通のあり方を調査・検討し、利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークを形成する必要があります。

○地域公共交通の現況

- ·JR東海道線(焼津駅、西焼津駅)
- ・しずてつジャストライン(株)(6路線)
- ・自主運行バス(焼津循環線、大井川循環線の2路線)
- ・藤枝市の運行する自主運行バスの乗入(西焼津駅、つつ じ平団地)

〇地域公共交通の課題

- ・旧市町間を結ぶ交通ネットワークの検討
- ・路線バスの廃止などによる交通空白地域の存在
- •地域公共交通利用者の減少

〇調査の主な内容(予定)

- ・公共交通の現状調査
- ・住民アンケート調査・バス利用実態調査
- ・地域の課題を整理→推進施策の検討

〇地域公共交通総合連携計画の策定

・調査、検討をもとに「地域公共交通の活性化及び再生に 関する法律」に基づく地域公共交通総合連携計画策定

